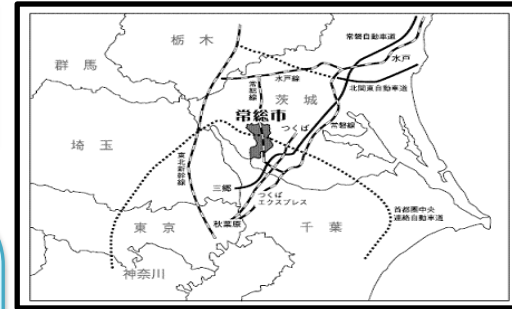


# 令和2年度 常総市地域公共交通活性化協議会 (茨城県常総市) (地域内フィーダー系統確保維持事業)



面積	123.64 km <sup>2</sup>
人口 (R2.4.1時点)	59,567 人
15歳未満	6,900 人
65歳以上	18,041 人
高齢化率	30.6 %
世帯数	21,991 世帯

## 地域の公共交通等の現況

常総市は平成18年に水海道市と石下町の合併により広域な面積の市となった。市の南北を関東鉄道常総線が結び、民間路線バスは5系統運行しているが、いずれも車社会の進展等により利用者が減少し、運行本数の減少や運行区間の廃止が続いている状況にある。当市は可住地面積が広く、集落が散在しており、交通空白域も広範囲に広がっているため、自家用自動車の保有台数も全国的にも非常に多い。自動車を運転できない市民のため、地域と公共施設、病院等を往来できるような移動手段として無料の福祉循環バスが運行していたが、利用者の減少、受益者負担の見直し、旧市町間の相互乗り入れができなかったことから、合併後の市における公共交通の整備と交通サービスの公平性を図ることを目的とし、地域のニーズに適した持続可能な公共交通体系を構築するため、市民や交通事業者、関係機関で組織する常総市公共交通活性化協議会を設置した。当市にふさわしい公共交通のあり方を協議し、予約型(デマンド)乗合交通の導入、事業者及び地域との連携などの施策を実施しているところである。

## 交通計画の目指す概要／地域公共交通に関する施策・取組の概要

市外へアクセスできる関東鉄道常総線や路線バスに接続したり、市内の商業施設や病院への移動手段として「予約型乗合交通ふれあい号」を運行することにより、交通空白地帯を解消する。  
また、地域公共交通計画を現在策定中である。

## 交通施策として実施した事業の全体像の概要

交通空白地帯を解消し、鉄道や路線バスでは往来が難しい市内の病院・商業施設等へも移動できる手段を確保するため、自宅から目的地まで送迎するドアトゥドアのサービスとして「予約型乗合交通ふれあい号」を運行する。

## 交通計画の策定年月日

策定中(令和3年3月策定予定)

## 協議会開催状況

- 協議会の開催状況 4回開催
- ・第1回(令和2年7月22日)※書面前年度事業・決算報告  
フィーダー系統確保維持計画認定
- ・第2回(令和2年10月6日)  
地域公共交通網形成計画の策定について
- ・第3回(令和2年11月17日)  
常総市地域公共交通計画について
- ・第4回(令和3年1月)※書面前年度事業・決算報告  
常総市地域公共交通計画について  
フィーダー系統確保維持計画事業評価

## 補助対象事業の概要

地域内のフィーダー(支線)交通を確保・維持する取組みとして、市内全域を自由に移動できる手段として、予約型乗合交通を運行し、地域間幹線系統である広域路線バスや関東鉄道常総線に接続させる形で、事前予約型・区域運行の乗合タクシーを平成21年10月から運行している。

**【デマンド交通「予約型乗合交通ふれあい号」】**  
 事業者名: 関東南タクシー(株), (有)絹西タクシー, 松並タクシー(有), (有)三妻タクシー, 水海道ハイヤー(有), 石塚タクシー(有)  
 運行区域: 常総市内全域  
 運行日: 月曜～金曜(土日祝日, お盆8月13日～8月16日, 年末年始12月29日～1月3日は運休)  
 運行時間帯: 8時00分～17時00分(8時便から16時便の1日9便)  
 運行本数: 9便/日  
 運行車両: 6台  
 運賃: 250円(ただし, 3歳未満の子ども, 第1種身体・知的障がい及び精神障がい1級の利用者の介添え人1人は無料)

## 前回の事業評価結果の反映状況

住民のニーズをくみ取った公共交通サービスの構築のため、地域公共交通計画の策定にあたり市民アンケートを行った。

結果、コミュニティバスの運行を望む声が多く、デマンドは認知度が低いことがわかったので、利用促進策として、利用方法等をまとめたパンフレットを関係部署と連携しながら配布し、市民への周知を図った。

ほか、ワゴン車では乗降しづらいという意見を受け、全車両をセダン車両にし、利用者の利便性を向上させた。

しかしながら、新型コロナウイルスの流行により、利用者の増加とはならなかった。

## 定量的な目標・効果

### 【評価指標・目標値】

目標値:1日平均利用者数86.0人

### 【当該指標・目標値を設定した理由】

過去3年の利用実績から、適切な目標とした。

…平成29年度84.3人、平成30年度85.1人、平成31年度85.0人(見込み)

### 【効果】

低料金で安全・安心な「予約型乗合交通ふれあい号」を運行することにより、交通不便地域で自動車を運転できない交通弱者の市民(主に高齢者)の移動手段が確保できる。

## 目標・効果の達成状況

【指標:目標値】 実績:72.9人(目標値の84.8%)

### 【目標を達成できなかった要因(分析)】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため利用が控えられたと考えられる。

### 【効果】

低料金で安全・安心な「予約型乗合交通ふれあい号」を運行することにより、自動車を運転できない交通弱者の市民(主に高齢者)の移動手段が確保できた。

## アピールポイント

・運行スタート時に、各地区の自治会長や民生委員などにご協力いただき、広く周知を行うことができた。

・利用者の間でも口コミで制度の利便性が広まっており、今でも新規の登録者がいる状況である。

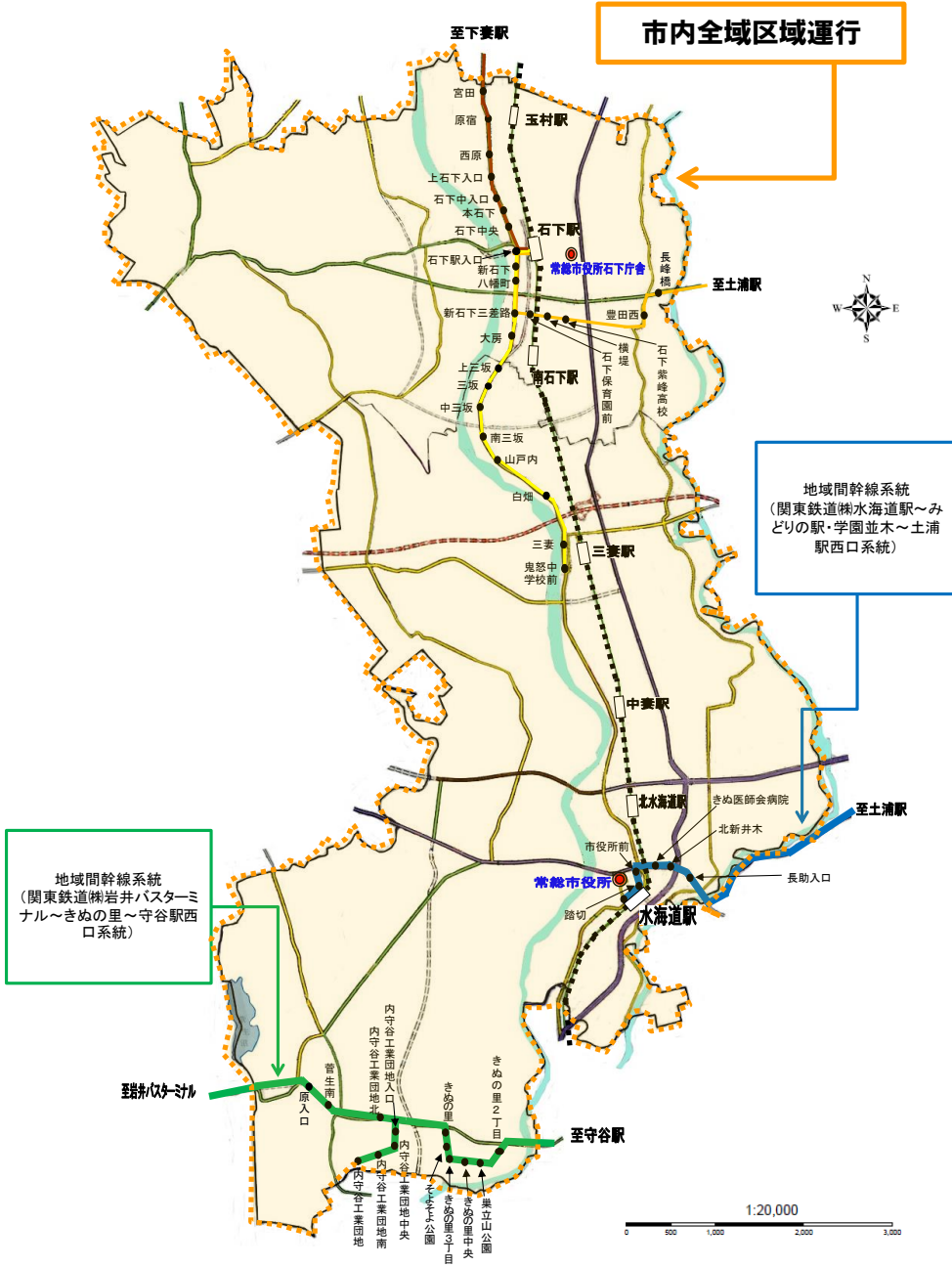
・事業者や運行委託先である社会福祉協議会と密に連絡を取り合い、運行内容を変更する際などは事前に協議を行い、スムーズに事業を行っている。

## 今後の改善点

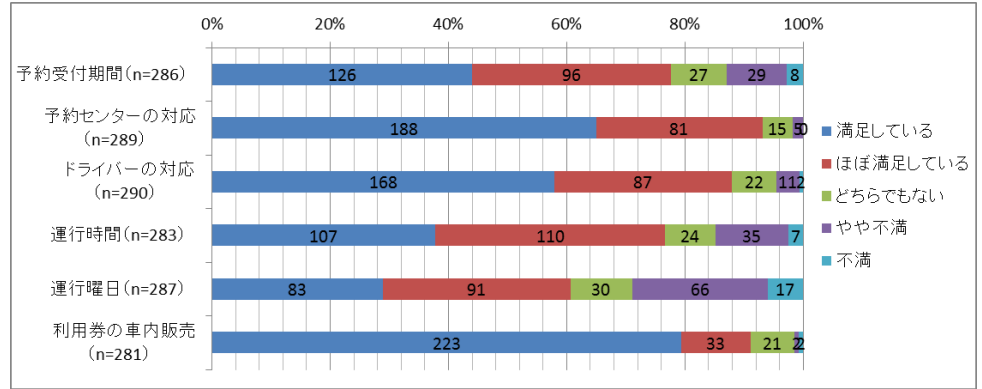
新型コロナウイルスの流行による利用者減が見られるが、市民アンケートでは現在のサービスを維持してほしいという意見が多くあり、デマンドを必要としている市民が安心して利用できるように引き続き感染症対策を行い、運行を維持・継続していく。

令和2年度末に策定予定の地域公共交通計画に基づき、当市にある交通手段の役割を整理し、コミュニティバスの導入やデマンドの料金適正化を含め、交通網の整備を行っていく。

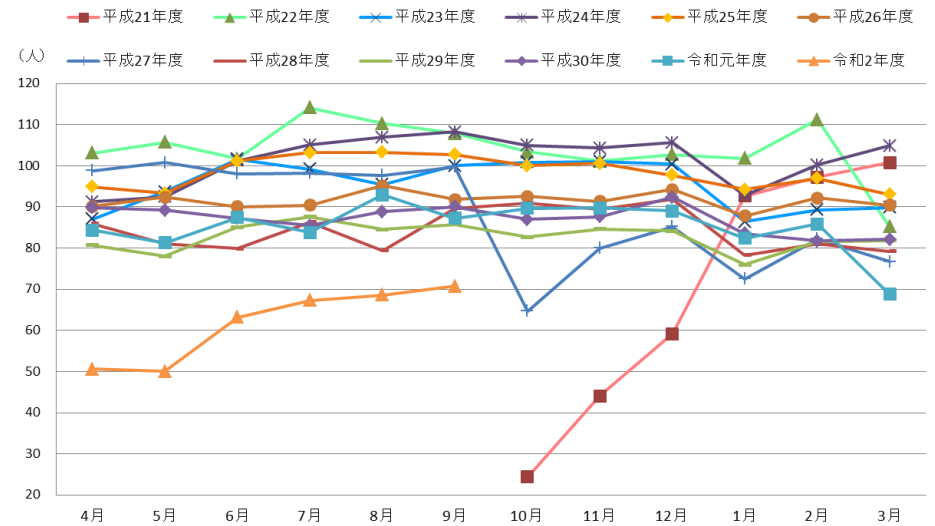
常総市予約型乗合交通運行区域図



【ふれあい号利用者アンケート結果 (H30実施)】



予約型乗合交通ふれあい号利用者数の推移 (1日当たり平均)



【年度別利用状況 (4~3月)】

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 ~9月
運行日数	222日	240日	241日	240日	236日	120日
利用者数	19,518人	20,239人	19,949人	20,896人	20,075人	7,415人
平均利用者数	87.9人	84.3人	82.8人	87.1人	85.1人	61.8人
新規登録者数	242人	223人	279人	319人	423人	119人

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年1月15日

協議会名： 常総市公共交通活性化協議会

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
関鉄県南タクシー(株)	デマンド交通(常総市内全域)	<p>住民のニーズをくみ取った公共交通サービスの構築のため、地域公共交通計画の策定にあたり市民アンケートを行った。</p> <p>結果、コミュニティバスの運行を望む声が多く、デマンドは認知度が低いことがわかったので、利用促進策として、利用方法をまとめたパンフレットを関係部署と連携しながら配布し、市民への周知を図った。</p> <p>ほか、ワゴン車では乗降しづらいという意見を受け、全車両をセダン車両にし、利用者の利便性を向上させた。</p> <p>しかしながら、新型コロナウイルスの流行により、利用者の増加とはならなかった。</p>	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>B 目標とした1日平均利用者数86.0人に対し、72.9人であり、目標を下回る結果となった。</p>	<p>新型コロナウイルスの流行による利用者減が見られるが、市民アンケートでは現在のサービスを維持してほしいという意見が多くあり、デマンドを必要としている市民が安心して利用できるように引き続き感染症対策を行い、運行を維持・継続していく。</p> <p>令和2年度末に策定予定の地域公共交通計画に基づき、当市にある交通手段の役割を整理し、コミュニティバスの導入やデマンドの料金適正化含め、交通網の整備を行っていく。</p>
(有)絹西タクシー					
松並タクシー(有)					
(有)三妻タクシー					
水海道ハイヤー(有)					
石塚タクシー(有)					

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和3年1月15日

協議会名:	常総市公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持事業費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	交通空白地帯を解消し、鉄道や路線バスでは往来が難しい市内の病院・商業施設等へも移動できる手段を確保するため、自宅から目的地まで送迎するドアトゥドアのサービスとして「予約型乗合交通ふれあい号」を運行する。